



西地区更生保護婦人会

女性のもつあたたかさ、細やかさを生かした活動を目指しています。

私たちの会は非行や犯罪を犯した人たちの立ち直りを助け、明るい社会の実現を目指して活動しているボランティア団体です。

広島市の更生保護婦人会は、昭和39年に設立され、昭和55年、広島市の政令指定都市移行により、8区にわかれ、「西地区更生保護婦人会」として、新しく活動が始まりました。



昨年は、更生保護制度施行50周年記念行事の一環として、5月3日から5日まで、平和大通りを舞台に繰り広げられるフラワーフェスティバルに保護司会とともに参加しました。

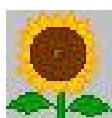
主な活動内容



毎年7月には、法務省が主唱する「社会を明るくする運動」に積極的に参加し、街頭での啓発、街頭パレードや「愛のたより」運動などを行っています。



2000年1月14日、広島少年院成人者に辞書を贈呈する。愛のたより運動から。



犯罪や非行を未然に防ぐ活動として、地域の人たちとともに家庭、非行問題に目を向けた“子育て支援”活動のための「ミニ集会」や「講演会」を行っています。



更生保護施設（ウイズ広島 犯罪を犯したり、非行に走ったりした人たちの立ち直りを助ける民間施設）への援助や矯正施設（広島少年院・刑務所）への慰問や激励を行っています。

どうぞ私たちの活動へ

ご参加ください。

お待ちしております。



人はみな、生かされて生きてゆく。

問い合わせ 電話231-8609 幟建（のぼりたて）



情報化時代のまちづくり

西区コミュニティ交流協議会 会長 東 友一

先日、テレビニュースで2005年には、インターネットの普及率が60%に達すると伝えていました。シンガポールは日本のそれより上回るとか。大変な時代になるのか。素晴らしい社会になるのか。アメリカの大統領予備選挙ではインターネットによる投票の実現している州があります。

このような将来に備え、広島市西区内の各種団体が共同して、コミュニティ活動を推進していくことを目的にしている西区コミュニティ交流協議会では、11年度新たな試みとして、インターネットにより構成団体の行事や公民館など関係機関の地域情報を発信する事業に取り組みました。

インターネットが利用できない方には、限られた紙面ではありますが、機関紙を発行することにいたしました。本紙は、より活発なコミュニティ活動を目指して、そのために発行するものです。

この1年間、情報化について勉強する機会を得て、さまざまな方からご指導・ご協力をいただきました。島根県の取り組みは大変参考になりました。

8月に開催した講演会の時、ジャーナリスト（前・広島市立大学教授）金澤寛太郎先生は、情報化にほど遠い私たちメンバーを前に「パソコンが使えるか、どうか問題でない。パソコンは近い将来、高齢者でも使いこなせるようになるであろう。インターネット使用料も企業間競争により安くなっていく。情報化は、もっとも身近なものとなる。これからのまちづくりの主役になる地域社会もそれに対応できるように備えておかなければならない」と話されました。

また、情報化について実際に感じ、目にすることもできました。関係機関との共催により11月に開催した「地域情報化シンポジウム」では、情報化がバリアフリーの有効な手段になることを知



りました。視察で参った島根県大田市では、地域の若者が中心となって結成され「ぎんぎんネット」のみなさんが情報化の推進、地域の活性化に一生懸命になっておられる姿をまのあたりにしました。そして、熊谷大田市長にも駆けつけていただき、みなさんから温かく親切にご教示を受けました。大田市立久屋小学校和上校長からは、インターネットによる生きた教育の体験を聴くことができました。情報化は教育を変えるものと思います。そのためには、教育環境を整えることが大切です。

私たちの取り組みはこれからですが、みなさまの協力を得て、住みよいまちづくりに努力していきたいと思っています。

パソコンボランティアの方には、これからの活躍を期待申し上げます。

西区コミュニティ交流協議会（「コミ協」）について

各小学校区の社会福祉協議会（16団体）、区単位の女性会、青少年健全育成連絡協議会、子ども会、老人クラブ、公衆衛生推進協議会、民生委員児童委員協議会、体育指導委員連絡協議会、保護司会、更生保護婦人会、PTA、体育団体のほか、広島中央交通安全運動推進隊、広島西交通安全運動推進隊、計29団体で構成され、平成元年5月から活動している。



「手をつなごう」

1年のあゆみ

4月のホームページ開設に向けて

8月からパソコンボランティアを募集

ホームページの開設に当たって、実際に地域情報をパソコンに打ち込むボランティアを構成団体の中から募集しました。研修を行うこととし、初心者も

初めてのパソコンに挑戦

西区老人クラブ連合会
女性部
藤川 博子 (79歳)



パソコンというと、wwwとかjpとか英語の言葉がでて、研修に参加することは心配でした。親切に教えていただき、自分のホームページを作成し、それがインターネットで見えた時は、本当に感激し、挑戦した甲斐がありました。忘れないよう、今度は研修を受けたメンバーと西区コミュニティ交流協議会が発行するコミュニティカレンダーの作成に取り組めます。

求めました。最終的には28人の応募があり、そのほとんどが初心者でした。

ジャーナリスト金澤寛太郎先生を迎え講演会

8月23日、ジャーナリスト 金澤寛太郎先生(前・広島市立大学教授)から、情報化が私たちの暮らしに及ぼす影響、心がけておかなければならない留意点など、これからのコミュニティ交流のあり方について聴きました。パソコンボランティア希望者、会員ら約60人が参加しました。

実験的にホームページを情報発信

中国地域CATVネットワーク推進協議会の協力を得て、昨年10月から2月まで、西区民まつり、西区青少年健全育成大会や公民館などのお知らせをインターネットにより情報発信しました。

ホームページの愛称を「WEST21」に決定

10月27日、臨時総会を開催し、ホームページの愛称を「WEST21」に決定しました。広島市西区の「西」を英語で表わし、「21」はコ

平成11年12月10日(朝刊)中国新聞から

ホームページに電子掲示板



インターネットの接続に挑戦中の「村濱」の区民たち

「インターネットを使って、区民同士の情報交流を深めよう」と、広島市西区の西区コミュニティ協議会(会長、三十四俣)が、春の開設を目標に、ホームページ方式の電子掲示板の運用準備を進めている。

「特派員」30人 街の情報発信

西区の交流協 来春開設へ特訓

「WEST21」を掲げられ、西区役所まちづくり推進課が試験的に運営しているホームページを来春までに協議会、希望する区民ら約30人を対象に、パソコン研修を実施するなどの準備を進めている。

(このプロジェクトはWEST21として行われ、西区役所まちづくり推進課が試験的に運営しているホームページを来春までに協議会、希望する区民ら約30人を対象に、パソコン研修を実施するなどの準備を進めている。協議会に所属する各地区の社会福祉協議会、老人クラブ連合会などのメンバーや、「特派員」として話を集める、パソコンで情報を発信する、もちろん一般市民にも情報提供も可能だ。)

「来春にホームページを開設し、」(公園の桜が見える)

「インターネットの接続に挑戦中の「村濱」の区民たち」

「インターネットを使って、区民同士の情報交流を深めよう」と、広島市西区の西区コミュニティ協議会(会長、三十四俣)が、春の開設を目標に、ホームページ方式の電子掲示板の運用準備を進めている。

「このプロジェクトはWEST21として行われ、西区役所まちづくり推進課が試験的に運営しているホームページを来春までに協議会、希望する区民ら約30人を対象に、パソコン研修を実施するなどの準備を進めている。協議会に所属する各地区の社会福祉協議会、老人クラブ連合会などのメンバーや、「特派員」として話を集める、パソコンで情報を発信する、もちろん一般市民にも情報提供も可能だ。」

「来春にホームページを開設し、」(公園の桜が見える)

「インターネットの接続に挑戦中の「村濱」の区民たち」

コミュニティ交流協議会の事務局がある広島市福島町二丁目2番1号と21世紀につながることから採りました。

パソコンボランティア研修を開催

11月から、パソコンボランティア希望者を2組にわけて計9回(延べ18回)、広島西郵便局で開催しました。講師もボランティアで郵政省中国電気通信監理局電気通信振興課の福田卓夫さんと広島市立井口明神小学校の杉浦透さんが務めました。また、応募者のうち経験者は、アシスタントを務めた。全ての日が午後7時からの開催であったため、会場の広島西郵便局に非常にご迷惑をかけることとにご協力をいただきました。

研修内容は、Windowsの起動・終了から始まり、最後は受講者が作成したホームページをインターネットに公開しました。

地域情報化シンポジウムを開催

11月23日、広島市西区民文化センターで中国ニューメディア懇談会、郵政省中国電気通信監理局、広島市、(株)中国ケーブルビジョンと共催して、地域情報化シンポジウムを開催しました。女優 藤田弓子さんの基調講演「いつも何かにときめいていよう」の後、「ボランティアが進める情報化時代のまちづくり」と題して、パネルディスカッションを実施しました。

パネルディスカッションのコーディネーターを務められた金澤寛太郎先生は、「情報化が進むと行政は、一人ひとりの市民と相対する覚悟が必要になる。一方、市民も自分自身の責任と義務を考えて行かなければならない。そういう市民参加の道具としてイ

ンターネットに大いに期待を寄せている」と締めくくられました。

パネリストとして、島根県プロジェクト23代表 三輪利春、(社)島根県情報産業協会理事 今岡克己、YMCA訪問看護ステーション・ピース事務長 坂本真理子、郵政省中国電気通信監理局電気通信振興課課長補佐 福田卓夫の各氏がそれぞれの立場から推し進めている情報化について意見を述べられました。

大田市の島根県立中部情報化センターなどを視察

11月28日、中国地方の情報化先進県といえる島根県の中心的役割を果たしている島根県立中部情報化センター(大田市)などを視察しました。西区コミュニティ交流協議会委員、パソコンボランティアら35人の参加がありました。

中部情報化センターの後に訪れた大田市立久屋小学校では、親子インターネット教室のために同校に来ていた情報研修車(島根県がマイクロソフト社から譲り受け、県内各地を回って、パソコン研修などを行っている大型バス。受講者用のノート型パソコンやプロジェクターを備え、インターネットにも接続できる)を見学しました。

また、大田市で地域情報化を進めているボランティアグループ「ぎんぎんネット」のみなさんに、わざわざ私たちのために同校で情報交換会の場を設けていただきました。



福田家のホームページ、おとーさんのページから

福田卓夫さん



「広島市西区の大田市視察&ぎんぎんネットとの交流」
中部情報化センター
情報研修車



ここはオープンスペースでインターネット、CD-ROMで情報検索、管内CATVの視聴ができる。広島市内には、公共施設でインターネットができる場所がないのでとてもうらやましがられていた。



バスの中には、受講者用パソコンが10台。随時ISDN回線を引いて、インターネットにも接続。研修は、地元の情報ボランティアがサポートしている。

久屋小学校



小学校の中で、大田地域のボランティアグループ「ぎんぎんネット」のメンバーと意見交換。この小学校の和上校長先生もぎんぎんのメンバー。「島根はどうしてこんなに進んでいるの?」「どうして日曜日に出てボランティアをしているの?」

郵政省中国電気通信監理局に勤め、私たちが大変お世話になっているおとーさんです。パソコンボランティアの講師や地域情報化シンポジウムのパネラーを務められました。出身は私たちが視察に訪れた島根県大田市。もちろん「ぎんぎんネット」の頼りになるメンバーです。ホームページアドレス http://www.bekkoame.ne.jp/~t_fukuda/